

国際保健学分野

A 欧文

A-a

1. Khan MH, Okumura J, Tey S, Nam N, Nagai H, Taga M, Yoshida N, Akazawa M, Tanimono T, Kimura K. Counterfeit Medicines in Cambodia - Possible Causes. *Pharmaceutical Research*.2010 Oct 01: Published online.DOI10.1007/s11095-010-0286-1. (IF:3.933)
2. Onozuka D, Hashizume M. Effect of weather variability on the incidence of mumps among children in Fukuoka, Japan: a time-series analysis. *Epidemiol Infect*. 2010 (in press) (IF:2.365)
3. Haque U, Hashizume M, Glass GE, Dewan A, Overgaard HJ, Yamamoto T. The role of climate variability in the spread of malaria in Bangladeshi highland. *PLoS ONE*. 2010;5(12): e14341.doi:10.1371/journal.pone.0014341.(IF:4.351)
4. Hashizume M, Faruque ASG, Terao T, Yunus M, Streatfield K, Yamamoto T, Moji K. The Indian Ocean Dipole and cholera incidence in Bangladesh: A time series analysis. *Environ Health Perspect*. 2010 (in press).(IF:6.191)
5. Reid H, Haque U, Clements AC, Tatem AJ, Vallely A, Ahmed SM, Islam A, Haque R. Mapping malaria risk in bangladesh using bayesian geostatistical models. *Am J Trop Med Hyg*. 2010 Oct;83(4):861-7.(IF:2.795)
6. Okumura J, Taga M, Tey S, Kataoka Y, Nivanna N, Kimura K. High failure rate of the dissolution tests for 500-mg amoxicillin capsules sold in Cambodia: Is it due to the product or the test method? *Tropical Medicine and International Health*. 15(11):1340-1346, 2010.(IF:2.328)
7. Haque U, Hashizume M, Sunahara T, Hossain S, Ahmed SM, Haque R, Yamamoto T and Glass GE. Progress and challenges to control malaria in a remote area of Chittagong hill tracts, *Bangladesh Malaria Journal*. 2010, 9:156 doi:10.1186/1475-2875-9-156. (IF:3.002)
8. Eguchi K, Ohsawa K, Fuse M(Kiyono), Suzuki J, Kurokawa K, Yamamoto T. Epidemiological Evidence that Simian T-lymphotropic Virus Type 1 in *Macaca fuscata* has an Alternative Transmission Route to Maternal Infection. *AIDS Research and Human Retroviruses*. 2010.(in press) (IF:2.024)
9. Onozuka D, Hashizume M. Weather variability and paediatric infectious gastroenteritis in Japan. *Epidemiol Infect*. (in press).(IF:2.365)
10. Haque U, Magalhaes RJS, Reid HL, Glass GE, Clements ACA, Ahmed AM, Islam A, Yamamoto T, Haque R. Spatial prediction of malaria prevalence in an endemic area of Bangladesh. *Malaria Journal*. 2010, 9:120 doi:10.1186/1475-2875-9-120.(IF:3.002)
11. Yamamoto T, International contribution Made by Universities and Medical Schools in Japan. *Japan Medical Association Journal*. 53(3): 001-002, 2010.
12. Khan MH, Okumura J, Sovannarith T, Nivanna N, Akazawa M, Kimura K. Prevalence of counterfeit anti-helminthic medicines: A cross-sectional survey in Cambodia. *Tropical Medicine & International Health*. 15(5):639-644 2010. (IF:2.328)
13. Hashizume M, Faruque ASG, Wagatsuma Y, Hayashi T, Armstrong B. Cholera in Bangladesh: Climatic components of seasonal variation. *Epidemiology*.21:706-710, 2010.(IF:5.406)
14. Zhang Z, Yamamoto T, Wu X, Moji K, Cai X, Kuroiwa C. Educational intervention for preventing blood-borne infection among medical students in China. *Journal of Hospital Infection*. 2010 (in press).(IF:3.012)

A-b

1. Hashizume M, Nishiwaki Y, Michikawa T, Ueda K, Onozuka D, Yokota K, Mine M, Mori A, Shimizu A, Sugimoto N, Yamamoto T. Effects of Asian Dust Events on Daily Mortality in Nagasaki, Japan. *Epidemiology*. 2010;22:s130. (IF:5.406)

B 邦文

B-b

1. 橋爪真弘, 上田佳代, 西脇祐司, 道川武紘, 小野塚大介: 黄砂の健康影響 疫学文献レビュー 日本衛生学雑誌 65巻 413頁~421頁 2010年

B-c

1. 橋爪真弘, 山本太郎:地球環境学事典 弘文堂 2010年10月

学会発表数

A - a	A - b		B - a	B - b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	2	6	4	0	5

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
山本太郎・教授	国際保健検討委員会副委員長	日本医師会
山本太郎・教授	常任理事（庶務・会計）	日本熱帯医学会
山本太郎・教授	代議員	日本国際保健医療学会
山本太郎・教授	理事	日本国際保健医療学会
山本太郎・教授	委員	内閣府科学技術外交戦略タスクフォース会合
山本太郎・教授	外部有識者	海洋研究開発機構 環境・社会システム統合研究フォーラム
山本太郎・教授	日本医師会医学用語代委員 理事	日本医師会
山本太郎・教授	ハイチ復興支援意見交換	外務省国際協力局
山本太郎・教授	ハイチの現状と課題報告	参議院会館
山本太郎・教授	国際緊急援助隊の一員として、ハイチにて救助活動	JICA 独立行政法人 国際協力機構
山本太郎・教授	「保健システム強化のための合同プラットフォーム」コンサルテーション会合	世界基金/GAVI アライアンス/世界銀行
山本太郎・教授	グローバル・ヘルスと人間の安全保障プログラム「健康と人間の安全保障プロジェクト検討会合」	財団法人 日本国際交流センター
山本太郎・教授	「感染症対策と国際協力 - 生態医療学・共生の視点から」講義	JICA 能力強化研修（HIV/エイズ）
山本太郎・教授	公衆衛生活動による母子保健強化「感染症対策の基礎」講義	沖縄県看護協会
山本太郎・教授	「地球温暖化と感染症対策」	九州保健所長会議
奥村順子・准教授	用語委員会・委員	日本集団災害医学会
奥村順子・准教授	新型インフルエンザパンデミック対策特別委員会・委員	日本集団災害医学会
奥村順子・准教授	編集委員会・委員	日本熱帯医学会
奥村順子・准教授	代議員・理事	日本国際保健医療学会
橋爪真弘・助教	黄砂の健康影響に関する既存データを活用した疫学研究等を行うワーキンググループ・座長	環境省
橋爪真弘・助教	微小粒子状物質等文献レビューワーキンググループ・委員	環境省
橋爪真弘・助教	水質環境基準生活環境項目検討業務衛生指標ワーキンググループ委員	環境省
橋爪真弘・助教	評議委員	日本熱帯医学会
橋爪真弘・助教	国際委員会・委員	日本熱帯医学会
橋爪真弘・助教	Expert consultant, Protecting Health from the Effects of Climate Change in Federal States of Micronesia, Palau, and Marshall Islands	World Health Organization (WHO), Regional Office for the Western Pacific
橋爪真弘・助教	Expert Reviewer, IPCC Special Report on Managing the Risks of Extreme Events and Disasters to Advance Climate Change Adaptation.	Intergovernmental Panel for Climate Change (IPCC)

競争的資金獲得状況(共同研究を含む)

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
山本太郎・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) G型肝炎ウイルス二重感染が HTLV-1 母子感染に与える影響
山本太郎・教授	厚生労働省	代表	厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業) 先進諸国を中心とした海外におけるエイズ発生動向、調査体制、対策の分析
山本太郎・教授	国立国際医療センター	分担	委託事業研究(社会的文化的背景を考慮した HIV 等感染症対策に関する研究) アジアの流動人口における HIV/エイズ、結核等発生動向に関する研究及び HIV 等に対する偽薬流通と薬剤耐性に関する研究
奥村順子・ 准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究 (C) 河川等に排出される抗生剤濃度と薬剤耐性菌に関する研究
橋爪真弘・助教	文部科学省	代表	若手研究(B) バングラデシュにおけるコレラ流行と気候変動に関する疫学研究
橋爪真弘・助教	文部科学省	代表	新学術領域研究 黄砂の疫学的健康影響評価
橋爪真弘・助教	厚生労働省	分担	厚生労働科学研究費補助金(地球規模保健課題推進研究事業) 水供給分野の国際協力における総合援助手法に関する研究

その他

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
山本太郎・教授	盲目の時計職人	長崎新聞	2010年 1月3日	ダーウィンの進化論「種の起源」について解説した。
山本太郎・教授	ハイチ いのちとの闘い	フジテレビ 情報プレゼンター とくダネ!	2010年 1月14日	大地震があったハイチの環境について取り上げられた。
山本太郎・教授	NHK WORLD	NHK	2010年 1月14日	ハイチ大地震について解説した。
山本太郎・教授	大地震ハイチ どんな国?	東京新聞	2010年 1月16日	ハイチの国、大地震について解説した。
山本太郎・教授	ハイチ大地震 雪崩のように落ち全壊	毎日新聞	2010年 1月19日	ハイチ大地震について解説した。
山本太郎・教授	SDF medics to be sent to Haiti	The Japan Times	2010年 1月20日	ハイチ大地震について解説した。
山本太郎・教授	論説委員【私の1冊】 宮田一雄	産経新聞	2010年 1月22日	「ハイチ いのちとの闘い」の本が取り上げられた。
山本太郎・教授	ハイチ大地震報告 生存	長崎新聞	2010年	ハイチの大地震、救出活動について解説

	信じ救出活動続く		1月31日	した。
山本太郎・教授	インタビュー急接近 「感染症薬供給 再構築 急げ」	毎日新聞	2010年 2月5日	ハイチの大地震、救出活動について解説 した。
山本太郎・教授	結核の耐性菌まん延を懸 念 ハイチ、地震で投薬 中断	東奥日報朝刊	2010年 2月5日	ハイチ大地震、結核の耐性菌まん延につ いて解説した。
山本太郎・教授	結核の感染拡大懸念 ハ イチ、地震で投薬中断	福井新聞朝刊	2010年 2月5日	ハイチの大地震、結核の感染拡大につい て解説した。
山本太郎・教授	$e_i + 1 = 0$	長崎新聞	2010年 2月6日	分子レベルにおける進化について解説 した。
山本太郎・教授	視点・論点「ハイチ大地 震・現場からの報告」	NHK 教育テレ ビ	2010年 2月17日	ハイチの大地震について解説した。
山本太郎・教授	「ハイチ大地震 日本の 貢献 中長期的な感染症 対策を」生活時評	中国新聞	2010年 2月21日	ハイチの大地震、感染症対策について解 説した。
山本太郎・教授	「継続した支援を」長崎 大でハイチ地震シンポジ ウム	西日本新聞	2010年 2月28日	ハイチの大地震、継続支援について解説 した。
山本太郎・教授	東京大学グローバル30	東京大学	2010年 3月1日	非常勤講師
山本太郎・教授	友情は永遠に - 昆明への 旅(2)	長崎新聞	2010年 3月9日	昆明の旅で感じたことについて解説し た。
山本太郎・教授	「ハイチ国際医療援助の 現場から」世界 4 2010 April	岩波書店	2010年 3月11日	ハイチの大地震について解説した。
山本太郎・教授	「情熱と冷静さ持ち、や るべきことやるだけ」 この人この一言	読売新聞夕刊	2010年 3月15日	ハイチの大地震について解説した。
山本太郎・教授	ボストン紀行(1)	長崎新聞	2010年 4月18日	ボストン滞在中でのことについて解説 した。
山本太郎・教授	ハイチ記事 「82歳シスターハイチへ 戻る」	朝日新聞	2010年 4月21日	ハイチにて一緒に活動したシスターに ついてコメントした。
山本太郎・教授	ハイチ地震支援の現場か ら	IDJ REPORT 国際開発ジャー ナル	2010年5月	ハイチの大地震の支援活動について解 説した。
山本太郎・教授	ハイチ被災地結核拡大	朝日新聞	2010年 5月15日	ハイチ被災地の結核拡大について解説 した。
山本太郎・教授	ニューヨーク紀行(1)	長崎新聞	2010年 5月16日	人類学の進化について解説した。
山本太郎・教授	キューバ紀行(1)	長崎新聞	2010年 6月14日	キューバ滞在中でのことについて解説 した。
山本太郎・教授	憂いの篩	長崎新聞	2010年 7月10日	脳の科学について解説した。
山本太郎・教授	文明の発達と自然破壊	長崎新聞	2010年 8月24日	文明の発達と自然破壊について解説し た。

山本太郎・教授	「生き方自体尊敬」 ハイチはよみがえる地震 復興・自立に希望	中国新聞	2010年 9月6日	ハイチ地震復興について解説した。
山本太郎・教授	夏休みの休日の午後	長崎新聞	2010年 9月11日	人類と科学との関わりについて解説した。
山本太郎・教授	随筆「ハイチ復興への願い」	長崎医学同窓会「朋百」 vol121	2010年 10月	ハイチ地震復興について解説した。
山本太郎・教授	アフリカと感染症・風土病	Ohm Bulletin 第46巻秋号	2010年 10月10日	アフリカの感染症と風土病について解説した。
山本太郎・教授	先史住民の健康(1)	長崎新聞	2010年 12月4日	人類と感染症のかかわりについて解説した。
山本太郎・教授	コレラ感染広がるハイチへ	中国新聞	2010年 12月8日	ハイチのコレラ拡大について解説した。
山本太郎・教授	創造的休暇	長崎新聞	2010年 12月12日	ハイチのコレラについて解説した。
山本太郎・教授	ハイチのコレラ拡大 AMDA 本格治療へ 医師 団の派遣など検討	中国新聞	2010年 12月23日	ハイチのコレラ拡大について解説した。
橋爪真弘・助教	環境疫学	筑波大学	2010年 11月11日	非常勤講師

講演等

山本太郎・教授	「ハイチ いのち 生きる力」講演	長崎大学
---------	------------------	------